

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2007～2008

課題番号：19610001

研究課題名（和文） 経済的・技術的秩序の危機と多元的再編  
— 仏英帝国の組織史的遺産と発展途上国の革新

研究課題名（英文） The Crisis and its pluralistic reorganization of the economic and technological orders: The heritages of the organizational history of the French and British Empires and the innovations of developing countries

研究代表者

高井 哲彦 (TAKAI TETSUHIKO)

北海道大学・大学院経済学研究科・准教授

研究者番号：80312338

研究成果の概要：

本研究では、フランス帝国の旧植民地が、植民地化、独立戦争、社会主義化・内紛、経済自由化など、幾多の危機に直面しつつ多元的に再編される経緯を分析した。経済的秩序はとくに商工会議所、技術的秩序は技術教育を事例に、組織史的な連続性と断絶性を比較分析した。地域としては旧インドシナおよび北アフリカに重点を置き、旧英植民地に増して危機が深刻化した旧仏植民地を比較分析した。

交付額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2007年度	2,300,000	690,000	2,990,000
2008年度	1,100,000	330,000	1,430,000
年度			
年度			
年度			
総計	3,400,000	1,020,000	4,420,000

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：社会秩序学

キーワード：秩序、危機、フランス、商工会議所、技術教育、帝国、植民地、経済史

## 1. 研究開始当初の背景

旧仏植民地では、旧英植民地に増して現在も秩序危機が頻発するのはなぜか。

## 2. 研究の目的

本研究では、旧仏植民地の秩序が、植民化、独立戦争、政権交代・内戦などの危機を経て、多元的に再編される経緯を経済・技術の組織史的遺産と革新の視点から考察した。

## 3. 研究の方法

(1) 経済的秩序については、旧仏帝国の商工会議所を対象に、フランス、アルジェリア、モロッコ、マダガスカル、カンボジア、ラオ

ス、タイ、インドの国立文書館および商工会議所において調査を行った。

① ポンディシェリ商工会議所（旧仏領インド）では史料が確認できなかったが、

② 他方、アルジェ商工会議所とカサブランカ商工会議所では、半世紀分の議事録の発掘と完全複写に成功した。この時代の経済活動の連続性は、独立後の旧植民地では「失われた記憶」となっていた。

③ マダガスカル国立文書館で半世紀分の商工会議所史料を発見し、前半部の完全複写に成功した。同国から文部科学省奨学生受け入れを決定し、クーデター発生後も研究継続の目処をつけた。

④聞き取り調査は、マダガスカル・カンボジア・ラオスの商工会議所事務局長と面談した。ラオスでは財界人(85歳)の聞き取り調査と回想録入手に成功した。植民地時代・王国時代・社会主義時代を通し、商工会議所会頭・国会議員・商務副大臣・革命政権幹部を歴任した稀有な証言である。

(2)技術的秩序については、仏技術史の泰斗と北アフリカと仏領インドシナに関して共同研究を行うと同時に、主に後者に関する現地史料を収集した。また、英帝国との比較資料も収集した。

①仏領北アフリカについては、アンドレ・グルロン国立パリ社会科学高等研究院教授と仏技術教育セミナーを東京・名古屋・大阪で共同開催し、欧州と比較ができた。

②仏領カンボジアに関しては、カンボジア国立文書館で史料収集を行い、希少な同時代文献の入手に成功した。また、カンボジア工科大学学長ともインタビュー調査を行った。

③比較対象としての英帝国の技術的秩序については、ロンドンの3つの技術者協会にて、技術教育史・技術者団体史の史料を収集した。

#### 4. 研究成果

旧仏植民地の20世紀史は、植民化、脱植民化、再編の3時代に大別できる。各国秩序の危機と再編は、経済・民族・歴史等の旧植民地側の特性、政治・経済・教育等の宗主側の制度に加え、両者間の相互交渉と時代間の連続性が明暗を分ける。

旧仏植民地は、少なくとも3つの型を持つ。北アフリカ型=本土連動型は、本土化されたアルジェリア、保護国としてのモロッコなど、本土と連動する。

サハラ以南アフリカ型=植民地標準型は、セネガルやマダガスカルなど、Marseille(1984;1986)らの描いたフランス植民地の典型例に近い。

インドシナ型=総督府自立型は、総督府の自立性が高く、北アフリカと好対照をなす。

史料収集は、アルジェ・カサブランカ・アンタナナリボの商工会議所については議事録を完全複写。ダカル・カンボジアの商工会議所は議事録を一部複写。チャンパサック商工会議所は会頭のオーラル調査完了。ベトナムは今後に長期調査が必要であり、ラオス・ポンディシェリは史料保存が悪いと確認。インドシナ教育制度は同時代文献複写をほぼ完了。

経済的秩序に関する成果は、ディスカッションペーパーおよび史料集2編にまとめた。日仏比較として、国際学会報告2回にも結実した。

技術的秩序に関する成果は、『国際交流セン

ター紀要』論文およびディスカッションペーパーとして刊行した。

旧英帝国に関する成果は、『社会史と経済史』という共訳書の形でも形にした。

旧仏帝国圏における現地調査は、『Derivative Japan』における9本の記事としても発表した。また、地域政策2本の議論にも一部反映した。

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計12件)

①松田紀子・高井哲彦「旧仏領アジア諸国における高等教育機関の形成—戦間期の仏領インドシナの同時代文献をもとに—」『北海道大学 Discussion Paper Series B』、無、No. 81、2009年、pp. 1-15。

②高井哲彦「旧フランス帝国における商工会議所—20世紀の仏領インドシナ・アフリカの史料論を中心に—」『北海道大学 Discussion Paper Series B』、無、No. 82、2009年、pp. 1-15。

③松田紀子「ヨーロッパにおける高等教育の改革と各国の反応——『ボローニャ・プロセス』の進展とフランスの事例——」『国際交流センター紀要』、無、第2号、2008年、pp. 63-72。

④高井哲彦「旧仏語圏百宝箱」『Derrivatives Japan』、2008年、p. 3。

⑤高井哲彦「インド、フランスの名残と経済成長—旧仏百宝箱」『Derrivatives Japan』、無、No. 16159、2008年、p. 3。

⑥高井哲彦「豊かさの中での持続的成長を模索—チュニジア百宝箱」『Derrivatives Japan』、無、No. 16201、2008年、p. 3。

⑦高井哲彦「豊かさと成長が共存する道—旧仏百宝箱」『Derrivatives Japan』、無、No. 16240、2008年、p. 3。

⑧高井哲彦「マダガスカル—旧仏百宝箱」『Derrivatives Japan』、無、No. 16278、2008年、p. 3。

⑨高井哲彦「フランス型の国際化をしたケベック—旧仏百宝箱」『Derrivatives Japan』、無、No. 16335、2008年、p. 3。

⑩高井哲彦「イスラム原理主義と経済の自由化—アルジェリア百宝箱」『Derrivatives Japan』、無、No. 15996、2007年、p. 3。

⑪高井哲彦「ラマダン—モロッコ百宝箱」『Derrivatives Japan』、無、2007年、p. 3。

⑫高井哲彦「経済的潜在力を測る指標—カンボジア百宝箱」『Derrivatives Japan』、無、No. 16082、2007年、p. 3。

[学会発表] (計4件)

①Tetsuhiko TAKAI, “Between Supermarket

and Consumer movement: The Japanese model of Consumer Cooperatives in the 20th century”, French-Japanese Business History Conference, 13 December 2008, Masion Franco-Japonaise, Tokyo, Japan.

②André GRELON (Chaired by Noriko MATSUDA), « Naissance de l’ingénieur moderne en Europe (1794-1914) », Seminaire de l’histoire d’enseignement technique, 22 September 2008, Masion Franco-Japonaise, Tokyo, Japan.

③André GRELON (Chaired by Noriko MATSUDA), « La France, les peys du Maghreb, l’enseignement technique supérieur et les ingénieurs, Seminaire de l’histoire d’enseignement technique », 22 September 2008, Osaka University, Osaka, Japan.

④ Tetsuhiko TAKAI, “Japanese Co-operatives in the 20th century”, French-Japanese Business History Conference, 3 November 2007, Maison Suger, Paris, France.

[図書] (計1件)

①松村高夫、長谷川淳一、高井哲彦、上田美枝子訳『社会史と経済史——英国史の軌跡と新方位——』北海道出版会、2007年、256p。

[その他] (計6件)

①高井哲彦「北海道で『教育の優位性』を探す」『しゃりばり』、無、第20号、2008年。

② Tetsuhiko TAKAI(ed.), Archives de la Chambre du Commerce d’Antananarivo, Tome I (DVD-ROM), 2008(史料集前編、私刊、マダガスカル国立文書館へ寄贈済)。

③ Tetsuhiko TAKAI(ed.), Archives de la Chambre du Commerce du Cambodge, 2008(私刊、カンボジア商工会議所に同事務局長の要請で寄贈済)。

④ Tetsuhiko TAKAI(ed.), Archives de la Chambre du Commerce du Laos, 2008(私刊、ラオス商工会議所に同事務局長の要請で寄贈済)。

⑤北海道商工業振興審議会(高井哲彦部会長)『北海道産業振興条例(北海道経済構造の転換を図るための企業立地の促進及び中小企業の競争力の強化に関する条例)』北海道、2008年。

⑥北海道商工業振興審議会(高井哲彦部会長)『北海道中小企業振興方策』北海道経済局商工金融課、2009年。

## 6. 研究組織

### (1)研究代表者

高井 哲彦 (TAKAI TETSUHIKO)  
北海道大学・大学院経済学研究科・准教授  
研究者番号：80312338

### (2)研究分担者

松田 紀子 (MATSUDA NORIKO)  
静岡大学・国際交流センター・准教授  
研究者番号：80432001

### (3)連携研究者

なし

### (4)研究協力者

アンドレ・グルロン (André GRELON)  
国立パリ社会科学高等研究院・教授  
同・モーリス・アルヴァックス研究所・所長